



『癒し』を通じた社会貢献 (株)ユビックス



平成12年1月の創業から、12年余りを経過した株式会社ユビックス、更なる飛躍目指している代表取締役社長 鶴川 和久氏に今後の取り組みを聞いた。

—— 古都「京都」から全国展開

当社は、東は東京都、西は鳥根県に至る広域でリラクゼーション施設を約60店舗運営している。形態は、商業施設などでの直営店舗やスーパー銭湯などの温浴施設での受託運営店舗、さらには当社の店舗で実績を重ねた店長が独立してFC店として全国で運営しており、「hana」や「Asiaju」といった店舗ブランドでコンセプトの異なる店を展開している。

はじめは、温浴施設などで受託運営の形態が多かったが、最近では東京の麻布や大阪の阪急三番街、京都駅地下のポルタなど人が集まる大都市の中心部に店舗を出店するなど、これまでの実績が認められ、大手が運営する商業施設からの引き合いが増えている

—— 人材育成

リラクゼーション施設の運営は、「セラピスト」と呼ばれる技術者が鍵となり、特に幅広く店舗展開を進めて行く条件として、技術者の存在が必須となる。そこで、平成16年5月にタイ国にセラピスト養成校として「バーン・タイ・アカデミー」を開校（現地法人の運営）し、高い技術を身につけ、お客に接することが出来るような仕組みを構築している。

その養成校で学ぶことでしか習得出来ないタイ式マッサージなど、独自のリラクゼーション療法が当社の強みとなり、さらに技術力の高い社員を育てることで、当社のFC店舗として独立を後押しできることが大きなメリットとなっている。また、情報伝達がスムーズに行われることや、管理コストを出来るだけ抑えることが可能であるということだと言う。

—— 今後の課題

ここ数年のリラクゼーション業界では、本来の「人を癒す」という価値が軽視され、低価格

かつ回転率を上げるための施術メニューを提供するスタイルが定着しつつあり、現場で働くセラピストが正当に評価されず、この業界を後にするといった現状があると鶴川氏は言う。

だからこそ、高い技術力でお客様にその価値を認めてもらわなければならない、育成した人材に活躍の場と活躍に見合った報酬を与えたいという思いから、当社は20分2,100円という決して同業他社と比較し安価ではない価格設定でサービスを提供している。

そのために、人材の教育・育成、会社としての組織力強化が、これからも大きな課題となり、経営者としても幅広く自己啓発を実践していきたいと語ってくれた。

—— 今後の展開

中長期的な計画としては、ホームページでも公表しているように今後5年で300店舗を目標としている。

そのためには、1つ1つの出店で実績を残し、先にも述べたように「人材」が大きな鍵となる。

この10月には、大阪のスパワールドや心斎橋オーパでの出店が決定しており、当社及びグループ会社の成長に期待したい。

(京都支店 調査1部 利光堅太郎)

会社概要

事業内容：リラクゼーション施設運営
所在地：長岡京市馬場見場走り17-5
資本金：2300万円
創業：2000年（平成12年）1月
設立：2001年（平成13年）2月
従業員：20人
(URL) <http://www.yubix.org/>
TDB企業コード：50-050519-8